

主な内容

本号は12頁です

- リサイクルプラザオープン
- 中原中也記念館開館3周年
- 佐内市長 山大で講義

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/山口印刷工業株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈1月〉

- 発生件数 74 (累計 74/前年比+16)
- 死亡者 0 (累計 0/前年比±0)
- 負傷者 83 (累計 83/前年比+16)



「お・み・ご・と」西京高校 甲子園出場

2月1日午後4時57分、「謹んでお受けいたします」と電話に応える島津宗隆校長、西京高校春の選抜高校野球大会初出場決定の瞬間です。山口市からは昭和8年旧制山口中学校の選抜大会出場以来の快挙で、佐内市長も「『山口市に西京高校あり』を全国にとどろかせてください」と選手たちを激励。栗林正和監督の胴上げ、「お・み・ご・と」の掛け声とともに帽子を飛ばすなど、グラウンドは選手たちのさわやかな喜びにあふれました。

2/15
1997年No.1190

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成9年2月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



137,292人
+101人



65,769人
+64人



71,523人
+37人



52,997
+56

リサイクルプラザに来てみませんか 広げようエコライフ



オープンフェスタ(1月26日)左はしが吉村京さん

「エコパークやまぐち」と愛称も決まった山口市リサイクルプラザが二月一日にオープンしました。二月五日、空き缶・空きビンの分別収集もはじまりました。集まった缶はアルミ缶とスチール缶に機械で選別し、プレスしてブロックに、ビンはそのまま保管してそれぞれ再生工場に送り出します。

「やまぐちエコ倶楽部」の吉村京会長は、「次の世代のためにも、物を大切に、自然と共生する環境にやさしい暮らし」をエコライフの輪を広げたいですね。たとえば、リサイクルアイデア講座では、暮らしの中で見つけたちよっとしたアイデア、お年寄りの知恵なんかを教えあったり、習った人がまた次の人に教えてあげるような「人のサイクル(循環)社会」を目指しています。

まず、リサイクルプラザに来てみられませんかと呼びかけています。



さき織り

タオルや古毛糸の再利用、和服のリフォームなどのリサイクルアイデア講座。休館日(月曜日)を除く毎日開かれています。見学のみでも大歓迎です。



パッチワーク



牛乳パック

不用品があつたら

不用品の提供は、まず、リサイクルプラザにご連絡を(☎2777122)

不用品

家具、家電製品、衣類、雑誌以外の本、玩具、日用雑貨品、自転車などで、そのまま使用できるもの、または清掃・小修繕で使用可能なもの

●無料提供の場合●

一mを超える大型商品は、ご希望により引き取りに伺います。その他は直接プラザに持ち込んでください。

提供していただいたものは、プラザ一階のドリームギャラ

フリーマーケットは毎月第2日曜日に開催予定です。ロビーにはリサイクルギャラ



オープンフェスタから



リー、リサイクルブティック、古本銀行など

リーに展示し、希望者に低価格でお渡しします。希望者には申し込み用紙を提出してもらい(三月一日から、毎月二十三日の抽選の結果、当選者にご連絡、プラザで現金と引き換えにお渡しします。古本銀行の本は、一冊十円以上で一人二冊(持込者は五冊)まで、常時お渡ししています。

●有料提供の場合●

現物はプラザに持ち込まず、品名、希望価格、連絡方法などの情報を「いらなかね情報」に登録します。

欲しいものがある人は、プラザにお問い合わせください。

また、プラザ内のパソコンで検索できるほか、広報紙「かわらばん」(毎月十五日発行)や、インターネットの山口市のホームページ(htt p://www.urban.or.jp/home/cityama/)でも紹介します。

市民工房

修繕したら使える家具や自転車。修繕の仕方がわからない、難しいという人にシルバ1人材センターの会員がお手伝いします。プラザの開館時間内ならいつでも持ち込んで修繕に挑戦してみてください。

資源のリサイクル

空き缶・空きビンの 分別収集がはじまりました



空き缶処理機械の始動
ボタンを押す佐内市長



収集日

- 毎月第1水曜日 大殿、白石、湯田
- 毎月第2水曜日 宮野、大内、平川
- 毎月第3水曜日 仁保、小鯖、吉敷、大歳
- 毎月第4水曜日 陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山

収集日の朝六時半から八時半までに出してください。不燃物の収集場所に四種類のコンテナ（箱）が置いてあります。

● 空き缶の出し方 ●

緑色の箱にアルミ缶もスチール缶も一緒に入れてください。お菓子の缶などもOKですが、一斗缶などの大きい缶は出さないでください。

アルミ缶とスチール缶を機械で選別したり、プレスしてブロックにしやすいため、缶はつぶさないで出してください。また、缶・ビンは中身をだして水で洗い流しましょう。

● 空きビンの出し方 ●

ビンは三つの箱に色別に分けて入れてもらいます。

二月の第一水曜日の五日、大殿・白石・湯田地区で缶とビンの分別収集がはじまりました。

午前六時半、八幡馬場町内の不燃物ステーションにも四種類のコンテナ（箱）が並べられました。

「これはこっちの箱でよかったですかね」、「すいませんが、ビンのふたは取ってください」、「この前のガレキの日が少なかったからねえ。みんな今日に置いておちやっつたんじゃないね。缶・ビンを出しに来られた人たちと「分別収集指導

・無色透明ビン↓白色の箱
・茶色のビン↓茶色の箱
・その他のビンは全部↓青色の箱

透明のビンでも少し色のついたビンがあります。ビンの底をみると見分けやすいですが、わからないものは、その他のビンに入れてください。

ふたは取って出してくださいですが、ラベルや取りにくいプラスチックの内ぶたはそのまま結構です。

○ 分別収集に出せないもの ○

スプレー缶、食品以外の缶、灯油やペンキの缶など、劇薬・農薬類のビン、化粧品ビンは不燃物の収集日に出してください。

員」のシルバークンセンターの会員さんとの間でこんな会話が交わされます。

小学生たちが収集場所の脇を通って学校に。お母さんと一緒にカンを持って来る幼稚園生もいます。自分たちの地区の分別収集を見ることは、まさに生きた環境教育です。

八時半。すべてのコンテナがいっぱいになりました。

シルバークンセンターの会員さんと一緒に立ち会われた町内会長の早川忠広さんは「最初だったので地区の皆さんに分別収集がどのくらい浸透しているか心

山口市リサイクルプラザオープン記念講演
秋山豊寛さん
「地球にやさしいリサイクルを！宇宙から地球をみて」



記念講演は、日本人初の宇宙飛行士で元TBS報道局専任局長の秋山さんを招いて、一月二十五日、山口南総合センターで行われました。

秋山さんは、「人間の基本は、食べて、寝て、子孫を作ること。食べることは生物としての人間の出发点だと思います」、「食べ物が大変だったら自分で作ってみよう」と現在は福島

配でした。結果的にはこんなにくれいさんの方が来られて、うれいさんですね。ビンもきれいにありますし皆さん本当に協力的です」と話されました。



「おつかれさま」
「また来月もお願いします」

県で農業と著述業に励まれています。昨年初めて米を収穫、「六・五アールで初めて米を収穫、ハサ（ハゼ）かけて天日乾燥して新米を食べました。米っていうのはうまいですね」の言葉には実感がこもっていました。

九十年十二月旧ソ連の宇宙船に乗り込み、地球を百四十四周、九日間の宇宙体験では「地上四百kmの宇宙から地球を見たことは大きなインパクトでした。地球はほんとうにきれいです」。

「計算すると水一リ宇宙船に運ぶのに四百万円かかる。尿や汗も水や酸素にして活用します」。リサイクルの発想は宇宙生活の基本だそうです。

「地球は青かった」と人類最初の宇宙飛行士のガガーリンさんが言いましたが、それは地球が地球に近づいてくるからです。地球をリングにたとえようと地球はリングの皮より薄いんです。地球は生命の星、この地球に近づいて私たちが生きています。

生まれ育った星、自分が属する星である地球が人間の開発行為などで傷ついているのなら修復しなければなりません。大量生産・大量消費というシステムを変えるなど、二十一世紀に向けて人間の知恵が求められています」としめくられました。



福田百合子館長

この3年間は無我夢中でやってきたので、あっという間に過ぎましたね。こんなに沢山の人に来ていただくとは思いませんでした。予想外のうれしいことです。

これからは資料の収集と保管に力を入れなければならないと思います。現在はどこでも資料が散逸することが多いと思いますがこれを次の世代に伝えていく責任がわれわれにあるのでは…。

資料を展示し、研究したい皆さんのお役に立つようすることが一番大切です。

また、中原中也の会と連携してイベントや公開講座などを開催していきたいですね。全国発信の拠点はこのことから…。

中原中也記念館 開館3周年

日本の文学史上に大きな足跡を残した詩人、中原中也。彼の生誕地湯田温泉に平成六年二月十八日オープンした中原中也記念館が開館三周年を迎えます。この三年間に十五万人を超える入館者が全国から訪れています。今月二十二日には、中也の業績を永く顕彰し、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に贈られる第二回中原中也賞も決まります。

平成六年二月十八日、中原中也生誕の地に中原中也記念館が建てられました。

「や」と念願の中原中也の故郷を訪れることができました。学生時代、中也を研究し、中也の育った山口に來たいと思っていました。普通の〇しとなり毎日忙しく同じ様な毎日を過ごしている中…とても感動しました。一週間のお休みをとり、ゆっくり中也の故郷、ゆかりの地をまわりたいと思います。

一九九七、一、二十二
宇都宮市 女性

開館以来受付のロビーに備えてある来館者の思い出が綴られたノートはすでに八冊目になり、感激の言葉が刻まれています。

平成八年十一月十四日には記念館の来館者も十五万人を超え、全国各地から多くの方々が中原中也に会いに来ています。

中也に関する資料の寄贈寄託も増えました。鹿児島市の永田光谷さんから寄贈していただいた翻訳詩原稿「音楽堂にて」(ランボオの詩を中原中也が翻訳した原稿)など、新収蔵資料展で紹介してきま

中原中也記念館の小企画展

「記念館の建築とデザイン展」

- 期間 2月15日(土)～3月28日(金)(月曜日は休み)
- 場所 中原中也記念館展示室(1階)
- 内容 平成6年2月、中原中也生誕の地に中原中也記念館が開館しました。

建築デザインは、平成4年秋、山口市が中原中也記念館を建てるために実施した全国公開設計競技により、宮崎浩氏(プランツアソシエイツ 東京)の案が選ばれました。479点の応募数と作品の水準の高さで話題を集め、平成5年山口県立美術館において、優秀作品を集めた「詩人のための建築展」と題した展覧会も開催されました。

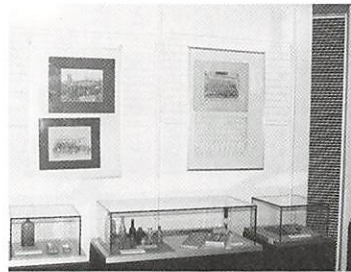
そして開館3周年を迎える本年2月18日には、前庭の拡張工事と共に、分館が増築されます。これを機に、高い評価を受けた記念館建築の設計の意図とデザイン計画の実際をご紹介します。

中原中也の人と作品を鑑賞する場を、いかにして建築家が表現したのか。文学館のための建築、詩人の背景となる建築について考えます。



企画展の様子

中也の命日(十月二十二日)前後に開催している企画展は、平成八年度は「中也の軌跡Ⅲ『寒い夜の自我像』とその周辺」と題して開催し、山口市内で



小企画展「中原医院の歴史」

也の詩「中原医院の歴史」と色々なテーマをたて開催して

きました。

主に山口市民を対象にした記念館公開講座も新たにスタートしました。この講座では福田館長をはじめ県内で活躍されている方を講師に招き、中原中也の魅力を十分満喫できる、やさしくわかりやすい講座として好評を博しました。本年二月十八日、春の訪れを前にして分館の増築と前庭の拡張工事が整います。

あ、家が建つ家が建つ。僕の家ではないけれど。

2月18日(火)は 入場料が無料に

中原中也記念館では、開館3周年を記念し、2月18日(火)は入場料が無料になります。(時間は9時から17時まで。入館は16時30分まで)。皆様のご来館をお待ちしています。



公開講座(講師:北川透氏)

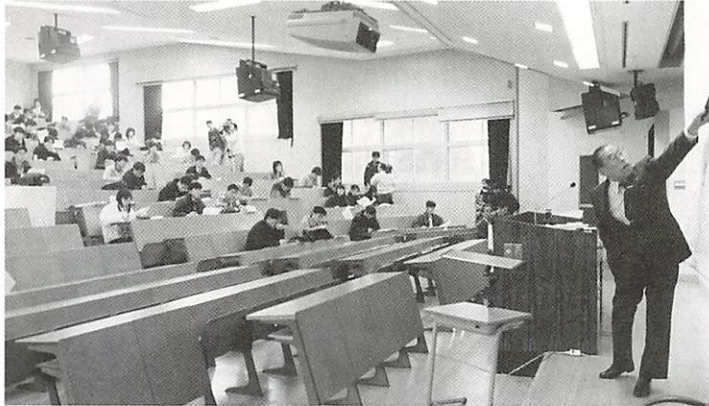
開館三周年を迎える春のひととき、どうぞ中原中也記念館へお越しください。

(中原中也・詩「はるかぜ」より)

空は曇ってはなぐもり、風のすこしく荒い日に。

佐内市長大いに語る

山大生を前に講義



一月二十七日、佐内市長が、現職の山口市長としては初めて大学で講義を行いました。

講義は山口大学経済学部の「地域経済事情」という授業の一環として行われたもので、学生たちは普段聞くことのできない市長の生の声に、熱心に聞き入っていました。

市長の講義は、「山口市の将来構想」と題して行われ、市の現状と主要課題や現在進めているまちづくり、また小郡町との合併問題などについて、地図やスライドを使いながら進められました。

この一連の授業には、佐内市長のほか、地場産業の社長

さんや、二井関成・山口県知事などが招かれ、リレー形式で県内のさまざまな問題について話されています。

●講義の内容

山口市の現状と課題について 元京都大学教授の高坂正亮さん（故人）が山口に来られたとき、「山口市には自然もある、文化もある、歴史もある、しかし経済がない」と言われたことがあり、その言葉は今でも深く印象に残っています。本市は、今後工業の振興や中心商店街の活性化などが大きな課題であると考えています。

●皆さんに贈る私の人生訓

私は選挙で選ばれている身なので、常に思っていることは「初心忘るべからず」ということです。入学・就職など人生の節目において、人は決意を新たにします。しかしその決意はしばらくすると忘れてしまいがちになります。私は、これを戒める意味で「初

心忘るべからず」を人生訓としてきました。

●小郡町との合併について

（学生からの質問に答えて）平成五年以降、小郡町側からの申し入れに答える形でいわゆる「双眼型都市構想」や、合併後の財政計画を含む建設計画、さらに「合併後の小郡地域未来のビジョン」もお示ししてきました。

これによって、あとは小郡町長さんに答えを出していただくだけという段階にきています。

今年の六月に小郡町長選挙が行われますが、新たに選ばれた町長さんに決心をしていただきたいと思っています。

●最後に

私どもは学生の皆さんのいろいろな意見を聞いてみたいという気持ちを持っていきます。皆さんにアプローチするチャンスがあればいつでも出ていって、話し合いもしたいと思っていますので、声をかけてください。

●学生の感想

受講した植木努さん（四年）は「リサイクルプラザのことなど、知らないこともたくさんあったので、スライドを使って山口市のことについて説

明を受けたのは大変参考になりました。ただ、一般的な話だけでなく、市長さんの個人的な思いとかが聞ければもっと面白かったと思います。でも市長さんは立场上、あんまり個人的な意見とかは言いにくかったのかもしれないが」と感想を話されました。

また小林晋也さん

（四年）は、市長への要望として「僕は野球部だったので、このように思うのかもしれないが」と前置きした上で、次のように話されました。「市長さんの説明にも出てきた西京スタジアムは一万二千人ぐらい入れるということですが、八千人が来ただけで駐車場はいっぱいになるし、道路もすごく渋滞する。施設はとても立派なのに、その周辺の整備が追いついていない感じがします。そのあたりをもう少し改善して欲しいですね。」

山口市の印象について、松山直敬さん（四年）は「スライドを使った説明などを聞いて、確かに施設などは充実していると思った。ただ山口市は公務員の町という感じで、身近ではない気がする。僕たちにもっと身近に感じられるよう努力して欲しい」という意見。



この講義「地域経済事情」を企画された山口大学経済学部の吉村弘教授は、「この度の授業は、自治体の現職の首長が話をしたということに非常に大きな意味があります。この講義を通じて、学生が山口について関心を持つと同時に、自分で考える機会になればと思います」と語られました。

●講義を終えて

講義の中でも申し上げたのですが、私たちは学生さんにアプローチしたくても、なかなかその機会がありません。しかし、今回の講義が市から学生さんへのアプローチの一つのきっかけになればと思います。

また要請があれば協力したいと思っておりますので遠慮なく声をかけていただきたい。

違いを尊重

— 日韓交流トーク —

一月三十一日、「日韓交流トーク」が嘉川公民館で行われました。講師は、大韓民国の慶尚南道から山口県国際交流員として派遣されている周珉淑（ジュミンソク）さんと、姉妹都市の公州市で三か月間の研修を終えた市国際交流室・宮崎知彦（ミヤザキチヒコ）さん。なごやかな雰囲気の中、韓国と日本の生活の違いなどを参加者三十人に話しました。この催しは、嘉川婦人会と嘉川公民館が開いている成人学級のひとつ。市報では、より多くの皆さんに隣国を一層理解していただけるよう今回の講演内容（要約）をお伝えします。

周さん

日本の畳に慣れていなかったもので、すごく寒かったですね。韓国の「オンドル」という床暖房はいいものだと思つて気づきました。

伝統衣装として、女性はチマ・チヨゴリがあります。これは、お正月などお祝いのある時に着るものです。お正月は、都会に出ていった子供や、親戚が集まります。また、還暦も盛大です。結婚式や金婚式もあり、子供が全部集まると、お年寄りになった両親の結婚式を昔と同じようにもう一度、挙げます。

韓国の食べ物と言いますと、キムチ、焼肉と思われれますが、そればかり食べているわけではなく、あえ物などあっさり



したものもあります。最近、辛いものが苦手な子供も多いですね。また韓国では、茶碗を持って食べると行儀が悪いと叱られます。なぜかと言うと、昔は茶碗が重くて大きい金物だったのでテーブルに置いたまま食べるのが習慣となっていたのです。そしてご飯と汁はスプーンで食べます。はしは、めん類を食べる時や、



子供の伝統衣装

キムチなどのおかずを取る時にしか使いません。同じご飯と、同じようなおみそ汁を食べているのに韓国と日本ではこんなに違いがあるんですね。色づかいについても、韓国の方は原色をたくさん使いますが、日本は比較的自然な色が多いですね。また、日本で講演を聴きに



公州市役所で仕事中の宮崎主事

行くと、子供を連れて来てくれるお母さんがいます。子供が騒いで、よく聴こえなくて会場を出たことがあります。そういう面では、ちよつと子供のしつけが甘いのではないかと思います。韓国のお母さんは怖いですよ。でも、いい事をしたら、よくほめてあげるから子供も良い事、悪い事が分かるのです。区別ははっきりしています。

宮崎主事

昨年の十月から三か月間、公州市で韓国語や歴史・文化・行政システムを学んできました。公州市での異文化体験。見るもの、聞くもの、食べるものなどすべてが驚きの毎日でした。まず、街でよく見かけるのは学生たち。人口の三割が学生です。高校生たちは有名大学へ入るため、夜遅くまで学校に残って勉強します。学習塾や自習室も街のあちこちにありました。韓国では日本以上に受験事情が厳

しいようです。韓国の男性には兵役があります。このため大学へ進学した者の多くは、在学中に軍隊へ入り、そこで二年から三年間ぐらい厳しい訓練を受けて、復学すると聞きました。街では、休暇をもらった軍隊演習生が軍服で歩いているのをよく見かけます。またある日、公州市役所での仕事中にサイレンが鳴り始め、職員みんなが階階の部屋に入って行きました。話を聞くと、その日は市民の防衛の日で、災害や有事に備えて三か月に一度、全土で市民の避難訓練が行われるということでした。

食文化で驚いたのは、海の幸が豊富で、皆さんが好んで食べていることでした。魚の刺身も人気の料理です。また、大勢で食事をする時、みそ汁はひとつの大きな器に入れてみんなが各々のスプーンを使って食べるのです。食事作法のひとつに、食事が始まっても目上の人が口をつけるまであとの者は食べてはいけないということもあります。

市民の娯楽では、日本同様にカラオケが大流行です。テレビについては、日本に比べて、暴力シーンなど子供の教育上よくない場面が随分少ないように感じました。似ているようで違う、違うように似ている両国の文化比較をするにつれ、親しみがさらにわいてきました。

私が研修を終えて思うことは、日本の衣・食・住いづれをとつても海外とのつながりを抜きには考えられないということ。世界は、相互に依存し合っているから成り立っています。だからこそ、みんなが世界の平和というものを考えなければならぬと思うのです。それから研修を通じて、日本の良い点も再確認することができました。ぜひ、今後も日本の良さを残していきたいと思つています。



◆講演を聴いた参加者は、「私が考えているより、詳しく衣食住が分かった」「日本の子育ては甘いのと思った」「違うところを尊重することが大切だと思う」と暮らしの中に新たな視点を加えました。



人形劇や影絵を演じる劇団「ひばぼたまーず」。レパートリーに、カバを主人公とした劇があり、そこからひばぼたまーずという名前になりました。カバは英語でヒポポタマスなので。
メンバーは、語りが市児童図書館の田中雅美司書、人形操作が斉藤澄江臨時職員と元臨時職員の大田マリ子さん、キーボードがこの図書館の利用者・柳林優子さん、影絵作りがやまびこ学級(留守家庭児童学級)の土井知恵先生、人形作りが市児童文化センターの河村奈穂児童指導員、挿入歌とセリフが吉敷公民館の長谷川洋主事の計七人です。「自然に決まった分担に誰も干渉しないのでやりやすい」と

私たち ひばぼたまーず



は河村指導員。長谷川主事も関西弁で「ケチつけたら、あかんでー」。リーダーの田中司書は「バラバラなんです」。どうやらこの劇団、個性と個性がうまくかみ合い、それぞれを持ち味が十分に発揮されているようです。
もともと、平成六年の湯田ふるさとまつりで、長谷川主事のオリジナルソングを田中司書が聴き、歌を作って欲しいとお願ひしたのが始まり。そして「ぼくの名前は湯田児童図書館」と「図書館音頭」という素敵な歌ができあがり、テレビの生放送にも出演しました。「せっかくだから、今度の『としよかんまつり』で何かやろう」とメンバーの意見がまとまり、平成八年三月のまつりでデビュー。絵本のお



(1列右から1番目は辻児童図書館長、その上と左は協力者)

話を演じ、子供たちが本に親しむきっかけをつくるため、現在まで九回の公演を行っています。一月二十六日には、山口市リサイクルプラザのオープンフェスタに出演。会場は、たくさん笑顔でいっぱいになりました。
最新の出し物は、絵本『あつさのせい?』(スズキコージ作・福音館書店)の冬バージョンで、寒さのために動きが鈍くなり、忘れものをしてたり、落とし物をしたりするという面白いお話です。
「必ず来てくれる親子がいます。同じストーリーだけでもいつも笑ってくれます。すぐくうれいすね」とファンの応援に胸をときめかせる田中司書ら「ひばぼたまーず」。夢と創造力をはぐくむ絵本の世界へ子供たちを案内します。



昨年八月のとしよかんまつり

見直しませんか?生活習慣 成人病予防

平成六年の統計によると、山口市民の死因の第一位は「がん」。「心臓病」と「脳卒中」をあわせたいわゆる三大成人病では、死因全体の約六割を占めるまでになっています。(グラフ参照)
成人病は、食事や喫煙といった、普段の生活と密接な関係があります。あなたの日常生活をチェックしてみてください。

予防のためには、まず「成人病にからない生活習慣を持つ」ことです。成人病の中でも、特にがんを防ぐための心がけ、注意点をあげてみました。

がんを防ぐための12か条
① バランスのとれた栄養をとる
② 毎日、変化のある食生活を
③ 食べ過ぎをさけ、脂肪はひかえめに
④ お酒はほどほどに
⑤ たばこを少なくする



三大成人病による死亡割合 (山口市・平成6年)

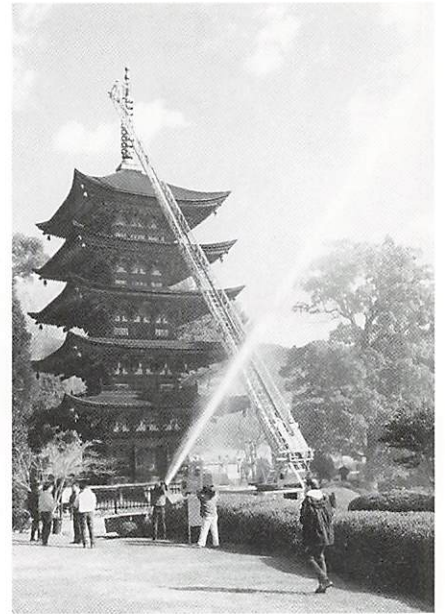
- ⑥ 食べ物から適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
 - ⑦ 塩辛いものは少なめに、熱いものはさましてから
 - ⑧ 焦げた部分はさける
 - ⑨ かびの生えたものに注意
 - ⑩ 日光に当たりすぎない
 - ⑪ 適度にスポーツする
 - ⑫ 体を清潔に
- ※国立がんセンター「がんを防ぐための12か条」より



これら12か条の中には、個人で努力してできるものもあれば、家族など周りの人たちの協力を必要とするものもあります。成人病にならないためには具体的にどうすれば良いか、一度みんなで話し合ってみましょう。
また定期的に健康診断を受けることも大事です。基本健康診査、がん検診などは積極的に受けるようにしましょう。

五重塔を火災から守れ、 文化財消防演習を実施

「文化財防火デー」の1月26日、瑠璃光寺の国宝・五重塔で山口・小郡消防本部が消防演習を行いました。消防署・団員や同寺、地元木町町内会の住民たち約70人が参加。午前10時半に「五重塔裏の草むらから出火、塔への延焼の恐れがある」との想定で第一発見者が寺に知らせ、住職が消防署へ通報。寺の関係者は五重塔に備え付けられた放水銃を使用して放水、一方消防署員は35mの高さまで届くはしご車で延焼防止をするなど本番さながらの訓練を行いました。瑠璃光寺の渡辺宣之住職は「塔の五層目まではしご車が届くことが確認できて心強い。地元の方はどんなささいなことでも気づいたら早く連絡してください」と話されていました。「文化財防火デー」は毎年1月26日と決められ、消防演習などの行事が全国的に行われます。これは昭和24年1月26日、法隆寺の金堂から出火し、国宝の十二面壁画の大半が焼けたことから、いつまでも文化財を火災から守る意識を忘れないよう制定されているものです。



スキー大好きー

小雪のちらつく2月2日、名田島、大歳、平川、吉敷地区の各公民館により、広島県山県郡芸北町の大佐山でスキー教室が開かれました。名田島地区では42人が参加。午前中は、山口市役所スキー倶楽部の部員に希望者が教えてもらい、午後は広いゲレンデに思い思いのシュプールを描きました。そして、名田島地区の方がスノーボードの手ほどきもされるなど、真っ白な世界で楽しく交流。「来年もまた来たい」とみんなが楽しい冬の日を過ごしました。

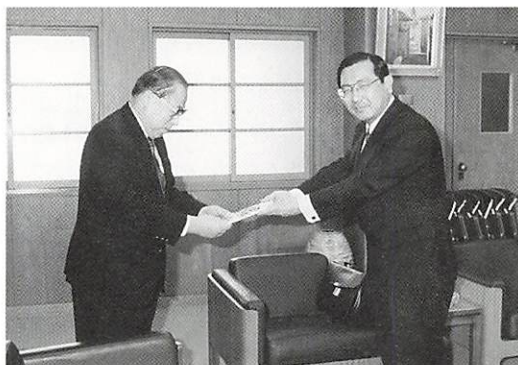
みんなが楽しい 第9回二島地区トリムバレー大会

2月2日、二島の体育委員会と公民館ではトリムバレー大会を開催。集落対抗で行われ、応援の皆さんと出場者の合わせて100人の楽しそうな歓声が二島中学校の体育館に響きました。大会長の吉松晴光さんは「誰でもできるスポーツで、歳をとってもやれるし、けががありません。普通のバレーやソフトのチームが出せない地区も出場できます」とみんなの参加を喜ばれます。トリムバレーは新しいスポーツ。ネットの近くでアタックをしてはいけないというルールが普通のバレーと最も異なります。



寄付 ありがとうございました

2月6日、嘉川小学校屋内運動場の改築記念として、南康隆さん(嘉川・嘉川小PTA会長)から50万円の寄付をしていただきました。この寄付は同校「体験といこいの広場」の藤棚を作るために使われます。





心をこめてフラワーアレンジメント&チョコ作り

2月2日、鑄銭司公民館で、親と子のチョコレートづくりとフラワーアレンジメント教室が開かれました。この催しはチョコレートづくり、フラワーアレンジメントの技術習得ならびに親子のふれあい、仲間づくりを目的に一昨年から行っているもの。参加した地区の小、中、高校生とその親20人はバレンタインデーをイメージしたハート型のフラワーアレンジメントと数種類のチョコレート菓子を一つひとつ心を込めて作り上げていました。

参加した小学生の1人は「花の飾り付けも、チョコをかけるのもちょっと難しかったけど、家に帰ってから、また挑戦したい」と自分の作品を前に満足そうでした。

お巡りさんと豆まき

節分の日の2月3日、吉敷幼稚園の園児109人が赤鬼と青鬼にふんしたお巡りさんに交通ルールなどを教えてもらいました。同園を訪れたのは、吉敷駐在所と大歳駐在所の警察官3人と、山口警察署の交通巡視員。横断歩道の正しい渡り方などについて良い例、悪い例を実演するとともに、車によく注意することなどを腹話術で説明しました。その後、園児たちは庭で豆まき。お巡りさんを追いかけて元気に走りまわりました。「地域に溶け込むことが大切」と岡本正弘警部補。藤家幸子園長は「実際の体験を通して学ぶことで理解は深まります」と教育面での効果を期待しています。



ネグロス電気株式会社が 鑄銭司団地に進出

鑄銭司団地にネグロス電気株式会社（本社・東京都江戸川区・菅谷慶一代表取締役社長）の進出が決まり1月22日、山口市から佐内市長、ネグロス電気から菅谷よし子会長が出席、県の立会いのもと、市内のホテルで進出協定の調印式がありました。同団地のO-2区画（約2,577㎡）を取得、鉄骨2階建て延べ床面積1,872㎡の山口営業所を昨年の12月から建設中で、6月に完成し、操業開始の予定。県内の主要電材店に電設資材を販売します。同社は昭和22年の創業で、資本金2億円。ビルの天井裏や床下に敷設される電路資材メーカー。山口営業所では従業員当初10人、最終的には15人に増やす予定。投資額は約3億5,000万円。



チェンバロ連続コンサート①

春のコンチェルト コレギウム・ムジクム・テレマン演奏会

- ◇日時 4月13日(日)午後2時開演
- ◇場所 山口南総合センターホール(名田島1218-1)
- ◇入場料 3,500円(全席自由・消費税込み)
- ◇曲目 「ブランデンブルク協奏曲第5番ニ長調」ほか
- ◇出演者 延原武春(指揮)、中野振一郎(チェンバロ)、北山隆(リコーダー)、横田健徳(トランペット)、上野博孝(ヴァイオリン)、コレギウム・ムジクム・テレマン
- ◇チケット発売 2月15日(土)から
- ◇プレイガイド 山口市民会館、C・S赤れんが、山口南総合センター、三好屋レコード店、山口十字堂楽器店、OK無線道場門前店、石井楽器店
- ※当日、小郡駅新幹線口より会場まで、無料バスを運行。



(財) 山口市文化振興財団 春のコンチェルト情報

中原中也生誕90年祭

加藤登紀子コンサート ～晴れ上がる空のように～

- ◇日時 4月30日(水)午後6時30分開演
- ◇場所 山口市民会館大ホール
- ◇入場料 5,500円(全席指定・消費税込み)
- ◇電話予約 2月17日(月)～28日(金)
・(財)山口市文化振興財団(☎20-6111)
※土日祝日を除く、午前9時～午後5時
- ・ラグタイム(☎25-6843)
※日曜日を除く午前10時～午後7時
- ◇一般発売 3月1日(土)から
- ◇プレイガイド 山口市民会館、三好屋レコード店、山口十字堂楽器店、OK無線道場門前店、石井楽器店



問い合わせ

(財) 山口市文化振興財団

☎33-0505

あなたも「エニー」の会員になりませんか!

(財) 山口市文化振興財団友の会の会員を募集します。
年会費は個人会員が3,000円、ファミリー会員が5,000円、団体会員が20,000円で、会員になるとチケットの優先購入や割引、情報資料の無料送付など、さまざまな特典があります。
詳しくは(財)山口市文化振興財団(☎33-0505)へお問い合わせください。

同和問題を考える

人権擁護施策推進法が、先の臨時国会で成立しました。これは人権擁護に関して国の責務を明らかにし、必要な体制を整えていこうとするもので、五年間の期限付き立法です。

これまでの関連した法に比べますと、人権が侵害された場合の被害者救済に重点がおかれた点で、画期的な内容となつています。「差別を見逃さず」と言いながら、とかく、被害を受けた人々の泣き寝入りになることが多いとされるのが改めようとするものです。

近づく二十一世紀は「人権の世紀」と呼ばれます。国連を中心とした呼びかけに応じて、政府も「平和のないところ、人権は存在し得ない」「人権のないところに平和は存在し得ない」と「人権教育のための国連千年推進本部」を設けて取り組みを進めています。平成八年度、山口市は「啓

《好きな街 差別のない町 わたしのまち》

湯田中学校3年 中山杏子

発進まちづくりモデル市町村事業」に指定され、学校・企業と地域を挙げて取り組んできました。

これまでに、市内十六地区のすべてに同和教育・人権学習推進の組織ができ、近く連絡協議会が結成される運びとなっております。

また、企業でも研修が進められて、山口市企業・職場同和教育連絡協議会には百十社が加入、連携を強めています。

同和問題の解決は国・行政の責務であるとともに、わたしたち一人ひとりが人権感覚を磨くことがなにより大切です。このほど成立した人権擁護法(略称)の趣旨を尊重して、それぞれに生活の身近なところで、「共生の心」にあふれたまちづくりを努めましょう。

※標語は、平成八年度同和对策強調旬間に係る作品募集スローガンの部山口市特選作品



シネマ&コンサート やさしさのおくりもの

- 日時 3月1日（土）午後2時30分～5時20分
- 場所 山口県立図書館レクチャールーム
- 対象 小学校高学年以上～大人
- 定員 280人程度
- 内容 映画「マイ・フレンド フォーエバー」、お話し「映画の中の子供たち」セニョール小林氏、コンサート（映画音楽ほか）広島交響楽団弦楽四重奏
- 入場料 無料
- 申し込み 2月25日までに、電話またはFAXで住所・氏名・年齢・電話番号を市児童家庭課（☎22-4111/FAX23-7890）へ



募集コーナー

有料在宅福祉サービスの 協力会員募集

- この事業は、日常生活に支障がある高齢者や障害者（児）、母子・父子家庭、妊娠婦世帯などに協力会員を派遣し、さまざまなサービスを提供するものです。
- 対象 このサービスの趣旨を理解し、家事、介助などのお世話のできる方（年齢・資格は不問）
 - 入会費 1,000円
 - 内容 家事全般・通院介助・車イス利用者の外出介助・幼児の世話・話し相手など
 - 謝礼 1時間500円
 - 問い合わせ 市社会福祉協議会（上堅小路89-1 ☎24-0543）へ

市臨時職員の募集

市では、臨時職員を希望される人に前もって登録していただき、欠員などがある場合、必要に応じて事務の内容により登録者の特技などを考慮しながら雇用します。
※登録いただいても、仕事量や登録者の関係などで雇用できない場合もあります。

- 登録受付 2月15日から随時
- 登録期間 平成10年3月31日まで
- 申込方法 市販の履歴書に自筆で記入し、写真を張り、押印して市職員課へ
- 問い合わせ 詳しくは、市職員課人事研修担当（亀山町2-1 ☎22-4111）へ

職種	勤務時間	賃金	保険等
一般事務	8:30～17:15（月～金）	日額6,560円	加入
	8:30～17:15（月15日）	日額6,560円	非加入
	1日5時間（月～金）	時給 820円	
保母 （要資格）	8:30～17:15（月～金）	日額7,360円	加入
	8:30～12:30（土）		
給食調理員	1日8時間以内	時給 820円	非加入

高齢者陶芸教室

- 期間 4月～来年3月まで
- 場所 養護老人ホーム福寿園（朝倉町5-4）
- 対象 市内在住の60歳以上の方で、初めて陶芸をする方
- 会費 年額3,000円（材料費別途）
- 募集人員 5人程度（応募者多数の場合は選考）
- 申し込み 2月19日～28日の間に市高齢障害課（☎22-4111）へ

トーマボールをつくろう

- 日時 2月27・28日（2日間）、午後3時30分～5時
- 場所 市児童館（下堅小路254）
- 対象 小学1年～3年生
- 募集人員 30人（先着順）
- 会費 200円
- 持参品 おりがみ・のり・はさみ・マジック・木工用ボンド
- 申し込み 2月19日～21日の間に、市児童館（☎28-8656）へ

留守家庭児童学級（杉の子学級）の入級児を募集します

- 両親が共働きや、母子・父子家庭の児童を、下校時から午後5時まで預かり生活指導します。
- 場所 市三和児童館（三和町3-3）
 - 対象 新小学1年生～3年生
 - 募集人員 若干名
 - 費用 月額1,500円（おやつ代）
 - 申し込み 3月14日までに、市三和児童館備え付けの入級申込書で、同館（☎22-7055または24-7280）へ

子育てふれあいセミナー

- 日時 2月21日（金）午前9時50分～午後2時
- 場所 山口県婦人教育文化会館
- 対象 小学生の子供をもつ親
- 募集人員 30人
- 内容 提言「子供のなやみ気付いていますか？」など
- 申し込み 2月20日までに、電話で山口県婦人教育文化会館（湯田温泉五丁目1-1 ☎22-2792）へ
※託児が必要な方は、合わせてお申し込みください。

編集後記

▽春の選抜高校野球大会の出場校が発表され、中国ブロック代表として山口県から西京と豊浦の両校の出場が決まり、西京は創立十一年目にして、初の甲子園出場を達成されました。▽山口市からの選抜出場は、昭和八年に旧制山口中の出場以来六十四年ぶりのことであり、関係者はもちろん、市民にとっても、平成九年初春のビッグプレゼントとなりました。西京の持ち味である機動力野球を十分に発揮して、甲子園いっぱい、さわやかな闘志あふれるプレーが期待されます。

○日時 2月26日（水）午後1時半（1時受付開始）

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士 市広報広

○問い合わせ 市広報広 聴課市民相談室（☎22-4111）

**市民
無料法律
相談**

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所（☎22-11590）で常時受け付けています。

※相談に際しては、詳しい書類（登記、契約書など）を持参してください。

3月の不燃物収集日

3日（月）	上金古曾・下金古曾・八幡馬場・上古熊・古熊・石観音・天花・天花畑・木町・道祖町・堂の前・円政寺
4日（火）	仁保
5日（水）	吉敷
6日（木）	上堅小路・野田・大殿大路・下堅上・下堅中下・大市諸願・太刀壳・西滝・東滝
7日（金）	大歳
10日（月）	小鯖
11日（火）	嘉川
12日（水）	（上・中・下）後河原・久保小路・中市・新馬場・松の木町・中河原・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町・米屋町・天神通り
13日（木）	陶・鑄銭司
14日（金）	佐山
17日（月）	今市・今道・大附・東惣太夫・西惣太夫・東糸米・西糸米・泉町
18日（火）	名田島・秋徳二島
19日（水）	（上・中・下）清水・鰐石・（上・中・下）道場門前・荒高
21日（金）	宮野
24日（月）	西白石・東白石・田町・竜王町
25日（火）	三和町・中讃井・熊野・一本松・前町
26日（水）	大内
27日（木）	元町・元町西・角下市町
28日（金）	平川
31日（月）	朝倉中央・東朝倉・西朝倉

■固定資産税4期・国民健康保険料9期の納期限は2月28日（金）です。お忘れなくお納めください。

■市税・国民健康保険料の納付については、確実に便利な口座振替をご利用ください。

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 期日 3月3日(月)
- 受付時間 午後1時～1時30分
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(葵二丁目5-69 ☎22-5111)へ(予約制)

催し物とお知らせ

特別展「毛利元就展」

- 中世の一大勢力であった大内氏、山陰の尼子氏、地方豪族であった毛利氏の関係資料を集め、展示します。
- 期間 2月18日～5月25日
 - ※月曜日、3月21日、4月30日、5月6日は休館です。
 - 時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 - 場所 市歴史民俗資料館
 - 展示内容 掛軸、文書、軍旗・軍配など、計25点
 - 入館料 一般100円、小中学生50円
 - 問い合わせ 市歴史民俗資料館(春日町5-1 ☎24-7001)へ

無料納税相談会の開催

- 日時 2月24日(月)午前10時～午後4時
- 場所 市役所正面玄関ホール
- 担当者 中国税理士会山口支部会員
- 内容 所得税確定申告そのほか税法一般、株式および有限会社の最低資本金制度
- 問い合わせ 中国税理士会山口支部・中野勉(☎25-6000)へ

平川高倉荒神祭に市営バス臨時便を運行

- 2月28日は「平川高倉荒神祭」の日です。
市営バスではこのお祭りの日に、湯田温泉～平川小学校前の間に臨時バスを運行します。どうぞご利用ください。
- 運行時刻(約25分おきに運行)
 - ☆湯田温泉前バス停前 午前9時～午後1時
 - ☆平川小学校前バス停 午前9時30分～午後1時30分

固定資産税等の納期について

平成9年度の固定資産税・都市計画税の第1期分の納期は、平成9年度が評価替えの年に当たるため、5月16日から6月2日までとなります。第2期分～4期分(7・12・2月)の納期は、従来どおりです。詳しくは、市課税課(☎22-4111)へお問い合わせください。

やまぐちDEVANDAフォーラム開催

- 日時 3月16日(日)午前10時～午後2時30分
- 場所 山口中央農協会館(吉敷4525-1)
- 内容 講演「DEVANDAとは?」・「生命と食べもの」ほか
- 入場料 500円
- 問い合わせ 株式会社秋川牧園(☎29-0350)へ

確定申告相談会

- 小規模事業者を対象に、決算・確定申告(所得税・消費税)の無料相談会を開催します。ご都合のよい会場に、お気軽にお越しください。
- 用意するもの
平成7年分決算書・申告書控え、平成8年分決算書・申告書、各種証明書(国民年金・健康保険・損害保険・企業共済など)、そのほか決算に必要な書類
 - 問い合わせ 山口商工会議所・中小企業相談所(☎25-2300)へ

相談日	時間	会場
2月18日	13:00～16:00	山口隣保館
2月24日	10:00～16:00	名田島公民館
2月26日	13:00～16:00	山口隣保館
2月27日	10:00～16:00	嘉川公民館
2月27日	10:00～16:00	陶公民館
2月28日	13:00～16:00	陶隣保館
3月3日	9:30～16:00	商工会議所
3月3日	10:00～16:00	小鯖公民館
3月4日	9:30～16:00	商工会議所
3月5日	9:30～16:00	商工会議所
3月5日	10:00～16:00	仁保公民館
3月6日	9:30～16:00	商工会議所
3月6日	10:00～16:00	佐山公民館
3月7日	10:00～16:00	鑄銭司公民館
3月7日	10:00～16:00	二島公民館

固定資産課税台帳の縦覧

- 固定資産課税台帳の縦覧を、4月1日から21日まで市課税課(市役所1階)で行います。
- 縦覧できる人
本人または同居の親族、納税管理人、本人から委任を受けた人(委任状または委任通知書が必要)
 - ※縦覧される人は、本人の印鑑を持参してください。法人の固定資産課税台帳を縦覧される人は、代表者印を押印した委任状または委任通知書と、縦覧される人の印鑑が必要です。
 - 問い合わせ 市課税課(☎22-4111)へ

動物愛護に関する講演会

- 日時 2月20日(木)午後1時30分～3時30分
- 場所 小郡町ふれあいセンター(小郡町大字下郷1440-1)
- 演題 「ヒトと動物との共存」～知る事 譲ること～
- 講師 安佐動物園(広島市)園長 森本博氏
- 参加料 無料
- 問い合わせ 山口県動物保護管理協会(☎小郡72-1174)へ



山口友の会 創立55周年記念講演

- 日時 2月20日(木)午前10時～正午
- 場所 山口県婦人教育文化会館(湯田温泉五丁目1-1)
- 演題 「シンプルライフで心豊かに」
- 講師 町田貞子氏
- 入場料 500円(当日600円)
- 問い合わせ
・山口友の会リーダー 井口美智子(☎24-1632)
・山口友の家(☎23-5317)

山口駐屯地 地域婦人層との交流

- 日時 2月23日(日)午前10時～正午
- 場所 陸上自衛隊山口駐屯地(八幡馬場)
- 対象 女性の方
- 内容 駐屯地司令挨拶、装備品展示、資料館見学など
- 申し込み 2月20日までに陸上自衛隊山口駐屯地(☎22-2281)へ

山口市の番組案内

「やまぐちしま専科」

山口朝日放送「5時からワイド」の1コーナーとして、毎週水曜日の午後5時30分頃から5分間放送。

「私たちのまち山口」

毎週日曜日午前11時40分から5分間、テレビ山口で放送。

「山口市からのお知らせ」

山口ケーブルテレビの12チャンネルで、15分間の「山口市・防府市・小郡町からののお知らせ」は、毎日午前9時30分・午後1時・7時・11時から、1日4回放送。

20分番組の「山口のんた情報」は、「お知らせ」に続いて、「小郡あのねのね」「ほうふほつとライン」と交互に放送。

「シティインフォメーション」

毎週月・金曜日、午前9時26分から4分間、FM山口で放送。

「音声FAXサービス」

ご家庭の電話やFAXを利用して、公共施設の利用案内、催しものなど、暮らしに役立つ身近な情報をお届けします。

◇フリーダイヤル
0120・000・6603